



# 西中学校だより 9月号

## 夢を追いかけて、チームを支えた最後の夏

羽生市立西中学校長 角屋房男

約40日間の夏休みが終わり、第2学期が始まりました。

夏休みの前半では、北埼玉地区大会を勝ち抜き、県大会に出場した部活動や日ごろの成果をコンクールで発揮した部活動などの素晴らしい活躍がありました。そして、応援・観戦している者に多くの感動を与えてくれました。このような多くの感動のひとつに、全国高校野球選手権大会がありました。

全国高校野球選手権大会で、ベスト8まで勝ち進んだ花咲徳栄高校の背番号「12」の選手の話です。



2回戦から出場した花咲徳栄高校は、青森県代表の県立三沢商業を15対3の大差で破り、3回戦では、山形県代表の鶴岡東を1対0の僅差で破りました。県立三沢商業戦では、9回に2番手投手として登板した、花咲徳栄高校の投手は、速いボールを生かして三沢商業の反撃を断ち切りました。9回の1イニングしか投げなかったその投手は、1回から9回まで、味方が守備についている間は、練習場（ブルペン）で、調子を整えながら、投球練習を続けていました。その投球を受けていたのが、ブルペンキャッチャーである背番号「12」の本校卒業生の選手です。3塁側外野席前に位置するブルペンで、いつ次の投手の登板があるかどうか分からない中で、ボールを受け続けていました。勝った花咲徳栄高校校歌が流れると、テレビ映像に選手の表情が映し出されます。もちろん卒業生の選手のにこやかな表情も映し出されました。その後の選手権大会の結果は、皆さんもご存じのように、準々決勝で、優勝校の神奈川県代表東海大相模高校に逆転され、1点差で負けてしまいました。

中学時代に、隣接市にあるシニア野球チームに所属し、中学3年生の時には、花咲徳栄高校へ進学をし、甲子園に出場しますと言っていました。そして、思い出すことは、西中学校の体育大会開会式で、大きな声で選手宣誓をし、学級対抗優勝へと導いたことです。こうした中学校での強い思いやその後の活躍が、甲子園出場につながったのでしょうか。

花咲徳栄高校野球部の部員数は多く、ベンチ入りすることは難しい中で、卒業生の選手は、3年間、努力し、ブルペンキャッチャーとして、試合に出場することはなくても、間違いなくチームを支える存在となりました。甲子園での活躍を終えた、卒業生の選手に、「夢を追いかけて、チームを支えた最後の夏、お疲れ様。」と言葉を贈りたいと思います。

本校卒業生が、このようにスポーツやいろんな場面で活躍してくれることは、大変うれしく、誇らしいことです。そのためには、生徒たちが夢をもち、そこに突き進むための具体的な計画や方法が必要であり、それを育てられる教育をさらに進めていきたいものです。

## 猛暑の夏 7・8月の学校行事

7月10日（金）文化部発表会とふれあい講演会が行われました。特にふれあい講演会ではキットセイコーの方のお話から、社会の中で働くことについて考えることができました。

### 文化部発表会



### ふれあい講演会



### 学校保健委員会



夏休みには、親子ふれあいボランティアや小学校のサマースクールでの学習ボランティアなどがありました。小学生に教えることをとおして、自らの学習の定着にもなりました。

### 学習ボランティア



### 親子ふれあいボランティア



### 市内5高校説明会



## 9月の行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	火	給食開始	16	水	歯科健診けやき 1-4 2-5 合唱練習 3年
2	水		17	木	歯科健診 3-2345 合唱練習 2年
3	木	校長会テスト 3年 家庭読書の日	18	金	家庭読書の日 合唱練習 1年
4	金	避難訓練⑥	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	敬老の日
7	月		22	火	休日 部活動停止
8	火	全校朝会 合唱練習 1年	23	水	秋分の日 部活動停止
9	水	合唱練習 2年	24	木	中間試験
10	木	専門委員会 歯科健診 1-123 3-1 合唱練習 3年	25	金	合唱コンクール 1日公開日
11	金	歯科健診 2-1234	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月	9月月例費引き落とし日	29	火	
15	火		30	水	